

国立公文書館の取組について

－ 地方公共団体との関わりを中心に－

- 1 認証アーキビストについて
 - (1) 認証の目的
 - (2) 認証の基本的仕組み
 - (3) 令和2・3年度の認証状況
- 2 地方公共団体との連携について
- 3 ジャパン・アーカイブズ・ディスカバリー（JAD）について

公文書管理フォーラム
令和4年9月29日（木）
国立公文書館
公文書専門官 島林孝樹

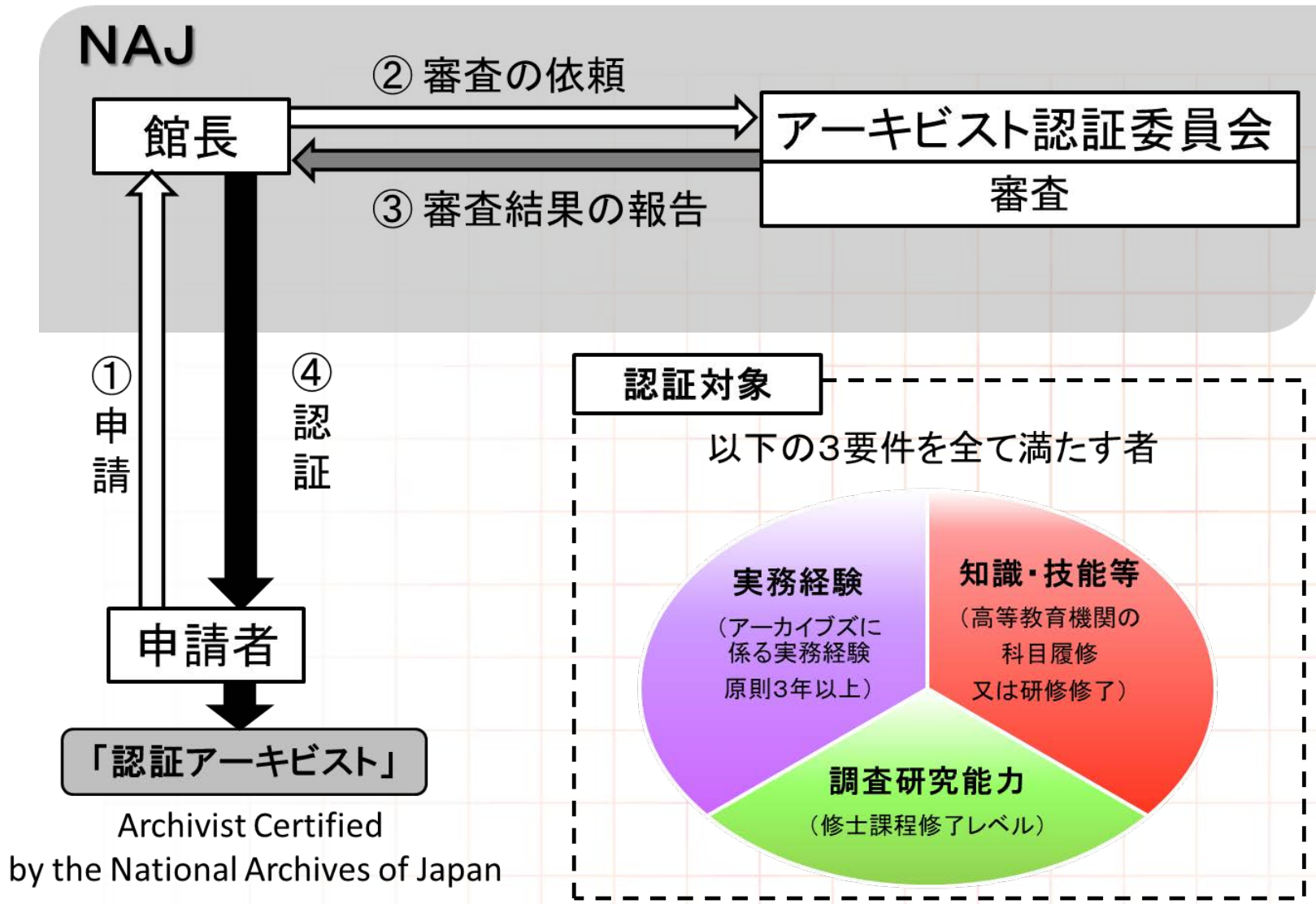
(1) 認証の目的

独立行政法人国立公文書館では、長年、アーキビストの養成や資格化について検討を進め、平成10年からはアーキビスト養成を目的とする長期研修の公文書館専門職員養成課程（現アーカイブズ研修Ⅲ）を開催するなど、その養成に関する取組を進めてきました。

令和2年度から、公文書等の管理に関する法律の5年後見直しを契機として、改めてアーキビストの資格化の検討を進め、国民共有の知的資源である公文書等の適正な管理を支え、かつ永続的な保存と利用を確かなものとする専門職を確立するとともに、その信頼性及び専門性を確保するため、アーキビストとしての専門性を有すると認められる者を国立公文書館長が認証することとしました。

（『令和4年度 認証アーキビスト 申請の手引き』2頁）

(2) 認証の基本的仕組み



(3) 令和2・3年度の認証状況

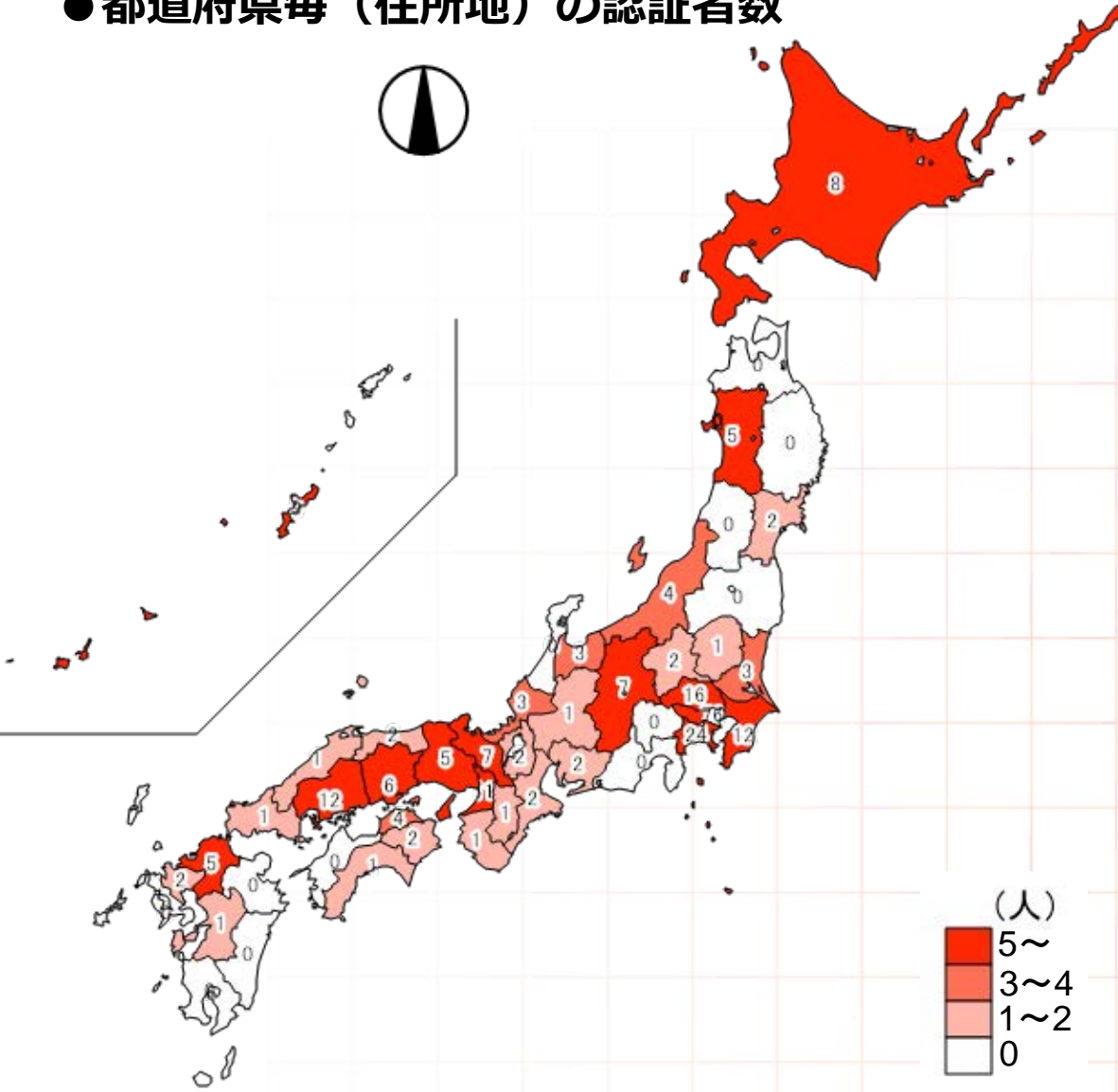
● 全体

	申請者数 (人)	認証者数 (人)	認証率
第1回 (令和2年度)	248	190	76.6%
第2回 (令和3年度)	81	57	70.4%
合計	329	247	75.1%

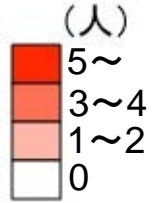
● 認証者の内訳 (所属別) ※認証時の所属

	公文書館 (人)	その他 (人)	公文書館職員 の割合 (%)
第1回 (令和2年度)	110	80 <small>(非公表3を含む)</small>	57.9
第2回 (令和3年度)	29	28	50.9
合計	139	108	56.3

● 都道府県毎（住所地）の認証者数



都道府県	人数	都道府県	人数
北海道	8	滋賀県	2
青森県	0	京都府	7
岩手県	0	大阪府	11
宮城県	2	兵庫県	5
秋田県	5	奈良県	1
山形県	0	和歌山県	1
福島県	0	鳥取県	2
茨城県	3	島根県	1
栃木県	1	岡山県	6
群馬県	2	広島県	12
埼玉県	16	山口県	1
千葉県	12	徳島県	2
東京都	76	香川県	4
神奈川県	24	愛媛県	0
新潟県	4	高知県	1
富山県	3	福岡県	5
石川県	0	佐賀県	2
福井県	3	長崎県	0
山梨県	0	熊本県	1
長野県	7	大分県	0
岐阜県	1	宮崎県	0
静岡県	0	鹿児島県	0
愛知県	2	沖縄県	9
三重県	2	非公表	3



※令和4年1月1日現在の住所地 **4**

● 国立公文書館長コメント（抄）

「全国の公文書館をはじめとするアーカイブズ関係機関の長の皆様におかれましては、引き続き、自館の職員に対する資格取得に向けた積極的な支援、また申請の促進に努めていただくとともに、認証アーキビストの積極的な活用にご協力いただきますようお願い申し上げます。」

（「令和3年度アーキビスト認証の実施結果について」資料1）

◆ 国立公文書館 アーキビスト認証ホームページ



◆ 認証状とカード



URL : <https://www.archives.go.jp/ninsho/index.html>

(1) 全国公文書館長会議

- 国及び地方公共団体が設置する公文書館の長が当面する諸問題を協議、相互連絡を目的として、平成元年度から毎年6月に開催
- 参加機関は、国等（17）、**地方公共団体（86、うち、都道府県41、政令指定都市10、市町村35）**
- 平成29年からは、継続的に、**公文書館職員の専門人材の育成**をテーマに意見交換等を実施
- 令和4年は、「**学校連携（展示・学習機能）**」をメインテーマに意見交換を実施
- 資料・公文書館を活用した学習へのニーズの高まり
「年表や地図、その他の資料を積極的に活用し、文化遺産、博物館や**公文書館**、その他の資料館などを調査・見学したりするなど、具体的に学ぶよう指導を工夫すること。その際、歴史に関わる諸資料を整理・保存することの意味や意義に気付くようにすること。」（「高等学校学習指導要領」（平成30年改訂）「歴史総合」及び「日本史探究」）

(2) アーカイブズ研修

- 公文書館職員向けの**アーカイブズ研修（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）実施**（過去3年で542名）

研修計画（アーカイブズ研修）〈令和4年度〉

令和4年4月8日 国立公文書館

研修名	アーカイブズ研修Ⅰ (基礎コース)	アーカイブズ研修Ⅱ (テーマ別実践コース)	アーカイブズ研修Ⅲ (専門職員養成コース)
期間	5日間	最大3日間	5日間×3回
日程	8月22日(月)～26日(金)	適宜	(前期) 9月12日(月)～16日(金) (中期) 10月17日(月)～21日(金) (後期) 11月14日(月)～18日(金)
人員	120名	40名	40名
目的	「アーキビストの職務基準書」が示す基礎的知識の習得	「アーキビストの職務基準書」が示す個別の知識・技能の向上	「アーキビストの職務基準書」が示す専門的知識の習得
研修内容	公文書館制度や実務に関する基本的な研修 ○公文書等に係る基本法令 ○アーカイブズに関する基本的な理論及び方法論 ○資料保存 ○デジタル化・電子文書・情報システム等	特定のテーマに関する講義や共同研究、実習による発展的研修	公文書館等において中核的役割を担う専門職員を養成するための研修 ○公文書等の管理・保存・利用 ○所蔵資料及び目録 ○情報公開等関係法令 ○保存修復及び保存科学 ○情報化・デジタル化等 ○アーカイブズ機関の事例研究
対象	・公文書館等の職員 ・国及び独立行政法人等の文書管理実務の担当者 ・地方公共団体の文書主管課等の職員 主に公文書館等における初任者	・公文書館等の職員 現に実務に従事している者	・公文書館等の職員 ・国及び独立行政法人等の文書管理実務の担当者 ・地方公共団体の文書主管課等の職員 アーカイブズ研修Ⅰを受講した者、公文書管理研修Ⅰ及びⅡを受講した者又は同等の知識を有する者で、公文書館等の専門職員又は文書主管課等の文書管理に係る専門人材としての役割を担う者
その他	・オンライン配信での受講も可とする。		・所定の講義を履修し、修了研究論文の審査に合格して修了となる。 ・3年度以内の分割履修を認める。 ・修了研究論文を執筆しない者の受講を認める。

https://www.archives.go.jp/about/activity/pdf/ken_keikaku_archives_2022.pdf

(3) 地方公共団体に対する技術上の指導・助言

- 公文書管理条例制定検討、公文書館設置準備、公文書館運営に当たっての**委員派遣**（過去3年で**64件**）
- 地方公共団体等主催の公文書管理セミナー等への**講師派遣**（過去3年で**13件**）
- 情報誌「**アーカイブズ**」の刊行（**年4回**、当館HPに掲載）

(4) デジタルアーカイブ化の推進等

- デジタルアーカイブ化の推進に向けた助言（相模原市、大阪大学、松江市など）
- 館デジタルアーカイブの横断検索連携の実現に向けた技術的支援の実施（鳥取県、広島県、新潟市、八潮市など）



デジタルアーカイブシステム
TOP > 他機関との横断検索

<https://www.digital.archives.go.jp/globalfinder/cgi/start/>

(5) 被災公文書の救援

- 自然災害の発生に伴う公文書等の被災における救済方法の助言・実技指導の実施（常総市、津久見市、西予市など）

(6) 館外展

- 平成24年度から毎年共同して実施
「近代日本のあゆみと〇〇県/市」（三豊市、高知県、兵庫県、福井県など）
「徳川家康と〇〇」（千葉県）



国・独立行政法人等の機関や地方公共団体などに所在する歴史公文書等の所在情報を、ジャパン・アーカイブズ・ディスカバリー（当館ウェブサイト開設）で一体的に提供

- これまで、我が国にある公文書館を中心に所在情報を把握し提供（令和4年8月現在、178機関掲載）
- 令和3年度から、公文書館が未設置であるが、公文書館機能を有する地方公共団体も対象に所在情報の把握を開始し提供

※所在情報とは

- 資料を所蔵する者の基本的な情報（名称、所在地、利用についての基本的な手続）
- 資料の概要



ジャパン・アーカイブズ・ディスカバリー
<https://www.archives.go.jp/jad/>

〈JADの意義〉

国や地方公共団体等が所蔵する歴史公文書等の利用の基本的な手続や概要等を容易に知ることができる。

- 歴史公文書等の所蔵者が提供している様々な情報を、当館において国際的な標準※に依拠して整理しJADに掲載
- 所在地やキーワードでの検索が可能



国内にある歴史公文書等の利用の「きっかけ」となる。

※アーカイブズ所蔵機関の記述に関する国際標準
International Standard for Describing Institutions
with Archival Holdings

沖縄県公文書館

名称の平行形式 (ISDIAH 5.1.3)

おきなわけんこうぶんしょかん
Okinawa Prefectural Archives

アーカイブズ所蔵機関の種類 (ISDIAH 5.1.5)

地方公共団体の機関等

所在地及び住所 (ISDIAH 5.2.1)

〒901-1105 沖縄県南風原町字新川148-3
<http://www.archives.pref.okinawa.jp/>

アーカイブズ所蔵機関の歴史 (ISDIAH 5.3.1)

1995年4月：沖縄県公文書館設立。

指令／権限の根拠 (ISDIAH 5.3.3)

沖縄県公文書館の設置及び管理に関する条例（平成7年3月31日条例第6号）

アーカイブズ及びその他の所蔵資料 (ISDIAH 5.3.7)

沖縄県文書（沖縄県の各機関が職務上作成又は取得し保管していた資料）、琉球政府文書（沖縄の本土復帰に伴い琉球政府から沖縄県へ引き継がれた資料）、USCAR文書（米国国立公文書館から収集した戦後の米国による沖縄統治に関する資料）、沖縄関係資料には、個人文書（大田政作、松岡政保、平良幸市、岸秋正、エドワード・フライマス、ジョージ・カー、比嘉太郎、湧川清米、稲嶺一郎など沖縄に関する個人の関係資料）、団体文書（沖縄県祖国復帰協議会、海洋博覧会記念公園管理財団、対米請求権事業協会等の関係資料）。

検索手段、手引書及び出版物 (ISDIAH5.3.8)

資料検索
https://www.archives.pref.okinawa.jp/search_materials

アクセス及び利用条件 (ISDIAH5.4.2)

利用案内
<https://www.archives.pref.okinawa.jp/guide>

更新年月

2021年2月



(例) 沖縄県公文書館

国立公文書館
NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN

当館について ご利用案内 所蔵資料 展示会情報 刊行物

ホーム > 館誌 > アーカイブズ > 第65号(4.8.31)

アーカイブズ

バックナンバー

- 第65号 (4.8.31)
- 第64号 (4.5.31)
- 第63号 (4.2.28)
- 第62号 (4.1.30)
- 第61号 (3.8.31)
- 第60号 (3.5.28)
- 第59号 (3.2.26)
- 第58号 (2.11.30)
- 第57号 (2.8.31)
- 第56号 (2.5.29)
- 第55号 (2.2.28)
- 第54号 (1.11.29)
- 第53号 (1.8.30)
- 第52号 (1.5.30)
- 第51号 (1.2.27)
- 第50号 (10.11.27)
- 第49号 (10.8.31)
- 第48号 (10.5.28)
- 第47号 (10.2.18)
- 第46号 (10.11.20)
- 第45号 (10.8.21)
- 第44号 (10.5.19)
- 第43号 (10.2.20)
- 第42号

第65号(4.8.31)
令和4年8月31日
ISSN 2189-488X

目次

第65号 (4.8.31)	巻頭語 国立公文書館理事の口書	国立公文書館 理事 山谷 英文
第65号 (4.8.31)	公文書からみた沖縄戦60年～「平和の真」声明をめぐって～	国立公文書館 種谷 裕司
第79号 (10.2.26)	沖縄戦60周年記念特別展「公文書でたどる沖縄の日本復帰」について	国立公文書館 鈴木 隆等 高木 重治
第79号 (10.2.26)	メイキング・オブ軍用地政策の変遷	(公材)沖縄県文化振興会 大城 博光
第79号 (10.2.26)	公文書館資料からみる復帰60年と北谷町	北谷町公文書館 佐久川 志寿
第79号 (10.2.26)	「つるみ」沖縄の日本本土復帰とメディア報道	国立公文書館 大城 由希江
第79号 (10.2.26)	「コラム」公文書等から見る沖縄振興開発計画～国立公文書館所蔵資料を中心に～	国立公文書館 西山 絵理子
第71号 (10.1.30)	金沢市公文書館の備忘について	金沢市公文書館 山口 好子
第69号 (10.11.27)	長崎県公文書コーナーについて	長崎県 永田 佳美
第69号 (10.11.27)	モンゴル国公文書管理庁との協力を推進する共同プロジェクト～日本・モンゴル外交関係樹立50周年記念プロジェクト「日本とモンゴル」顕彰た交流のあゆみ」webサイトの構築～	国立公文書館 大野 穂佳
第69号 (10.11.27)	2022年国際公文書館会議国立公文書館長フォーラム「バーチャル対話」について	国立公文書館 長岡 智子
第64号 (10.5.19)	(証言アーキビストより) 国立公文書館における専門職員～これまでの業務経験から考える～	国立公文書館 坂本 智子

アーカイブストップへ

アーカイブズ

<https://www.archives.go.jp/publication/archives/>

NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN NEWS

国立公文書館ニュース

Vol. 31
2022.9-11

特集 | 令和4年度 全国公文書館長会議 & 「国際アーカイブズ週間」記念講演会

連載 |

テーマラボ
今号のアーカイブ..... 5
情報の泉..... 6
先取り！展示会情報..... 7
アーキビストに聞く..... 8

記録を守る、未来に活かす。

国立公文書館
NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN

国立公文書館ニュース

https://www.archives.go.jp/naj_news/index.html